

物料:	49.5-50kW日版机快速安装指南
料号:	9.0020.0448A0
纸张大小:	A3
内页制作要求:	70g A3普通纸彩色双面印刷



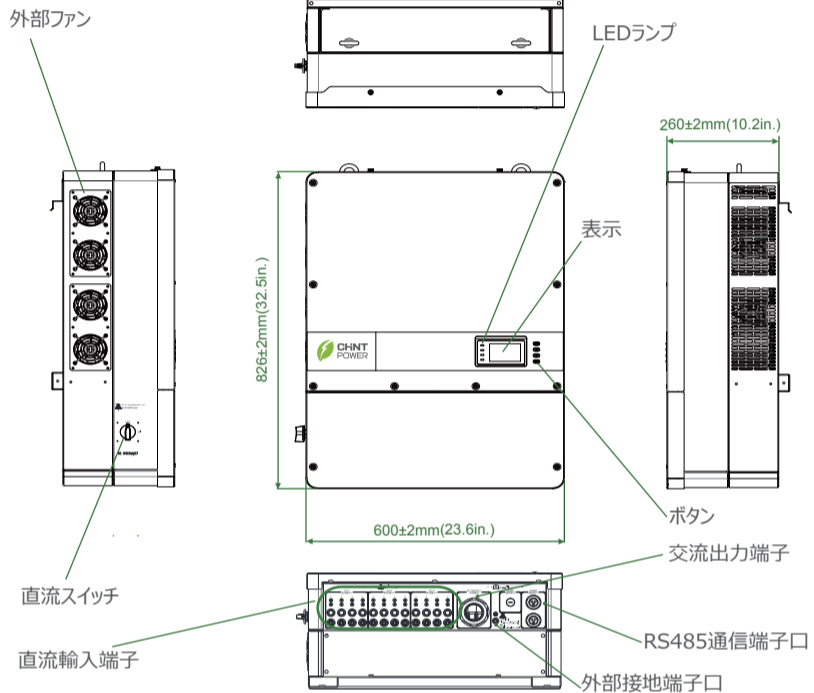
CPS SCA49.5KTL-DO/JP-420  
CSP SCA50KTL-DO/JP-420

CPS SCA49.5KTL-DO/JP-440  
CPS SCA50KTL-DO/JP-440



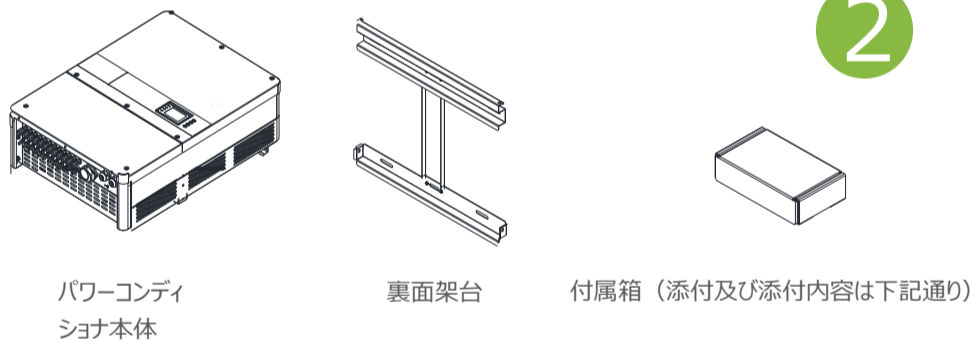
以下の内容は本パワーコンディショナの据付マニュアルとなり、よくお読み、順番に本製品を据付作業を行ってください。据付前に、本マニュアルをよくお読みください。本マニュアルに記載されている説明内容に従って取り付けや使用操作を行わなければ、機械の損傷が発生する恐れがあり、品質保証をしない権利があります。

## 全体解説



1

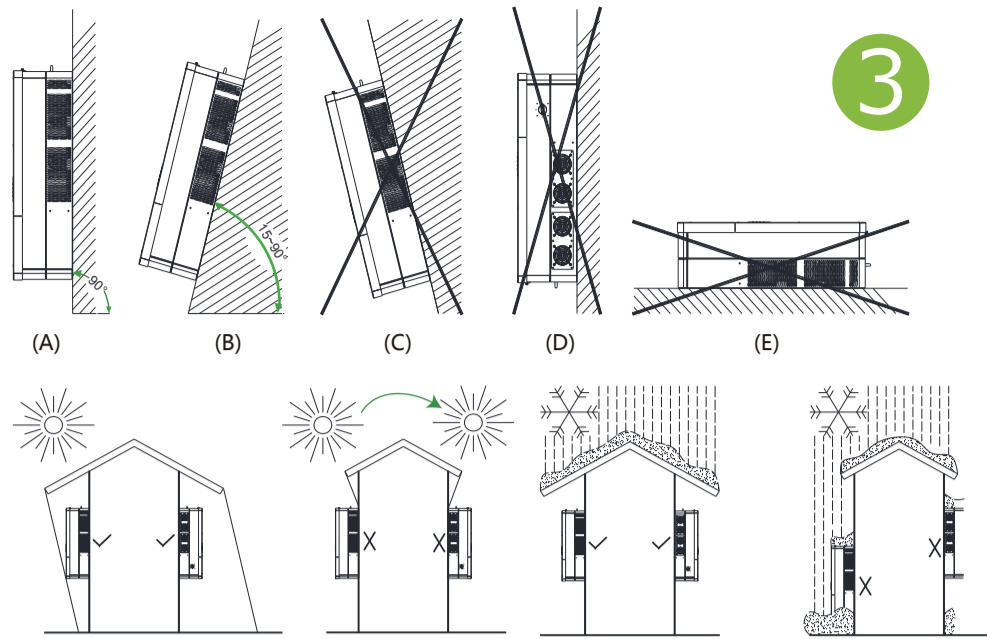
## 開梱前の検査



2

附件清单				
No.	名称	品物	数量	コメント
(1)	膨張ナット		6個	壁掛けマウント固定用
(2)	組合せボルト		6個	壁掛けマウント固定用
(3)	フィリップス六角スクリュー		3個	パワーコンディショナ裏面のマウント固定用
(4)	フランソナットM6		1個	内部アース用ボルト
(5)	分解用工具		1個	コネクタ分解と組立てのセットとして使用
(6)	5P出力コネクタ		1個	RS485通信
(7)	3P出力コネクタ		1個	RS485通信
(8)	2P出力コネクタ		1個	OVGR接着点
(9)	差込コネクタ		24個	PV直流ケーブル差込コネクタ、メス：12；オス：12

## 据付方式、環境及び据付間隔要求



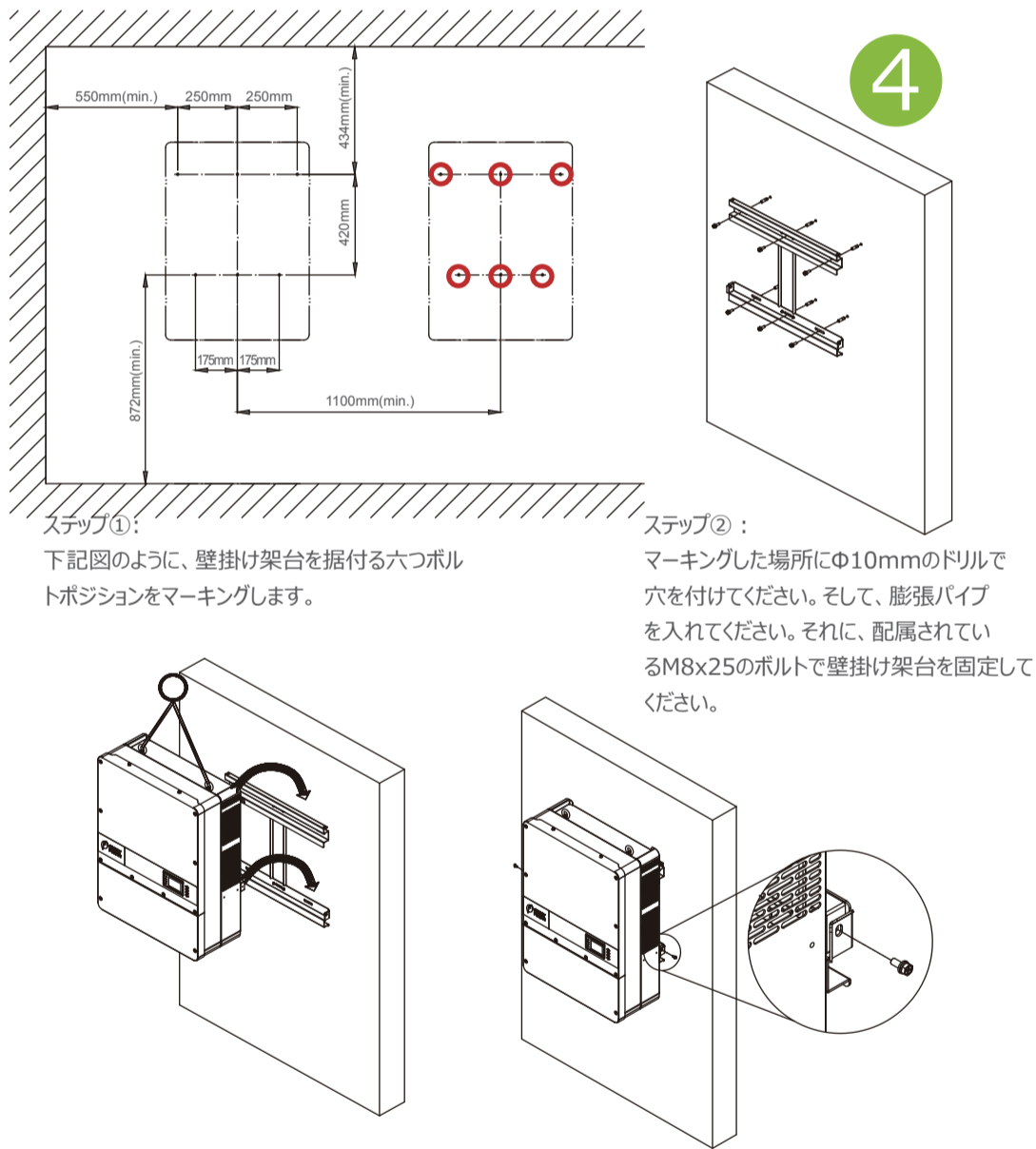
3

X 直射日光避け

X 雨・雪積み避け

- ✓ (a) 据付スペースが可能であれば、垂直に取り付けてください。
- ✓ (b) 垂直に据付ることを確保できない場合、パワーコンディショナの重力方向と水平面の角度は45度以下になったら、必ず日差しカバーを取り付けてください。
- X (c) パワーコンディショナを前傾に据付てはいけません。
- X (d) パワーコンディショナを逆転に据付てはいけません。
- X (e) パワーコンディショナを水平に据付てはいけません。最大の水平設置角度は15度。
- i パワーコンディショナの使用寿命を延ばすため、直接雨水の当たる場所や積み雪などの場所を避けてください。

## 据付



4

ステップ①:

下記図のように、壁掛け架台を据付する六つボルトポジションをマーキングします。

ステップ②:

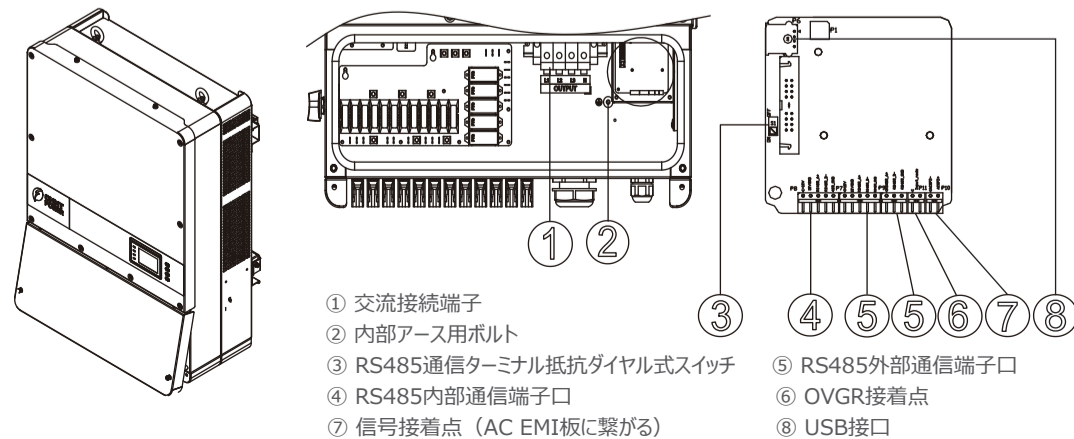
マーキングした場所にΦ10mmのドリルで穴を付けてください。そして、膨張パイプを入れてください。それに、配属されているM8x25のボルトで壁掛け架台を固定してください。

ステップ③: パワーコンディショナを裏面の架台に掛けて、両側のネジを締めてください。

## 交流ケーブル及びアース接続

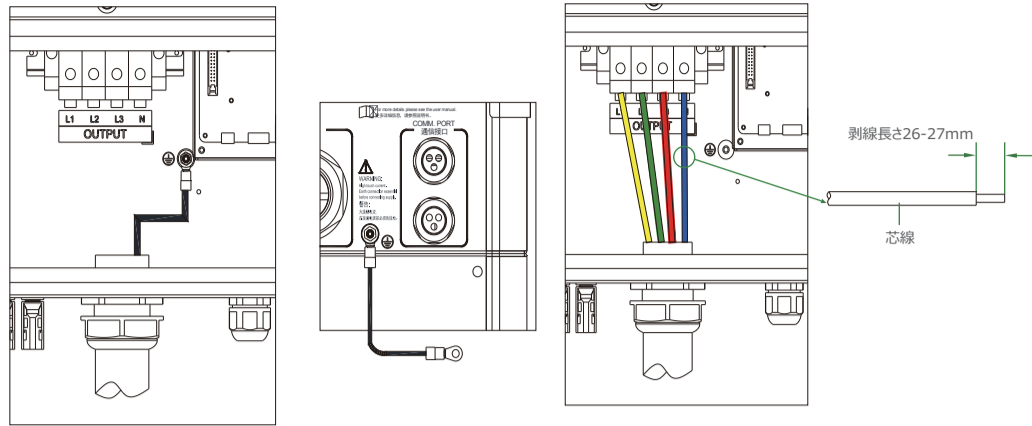
ステップ①: パワーコンディショナケーブル接続部分のカバーを開いてください。( #3ドライバーを使ってください)

5



- ① 交流接続端子
- ② 内部アース用ボルト
- ③ RS485通信ターミナル抵抗ダイヤル式スイッチ
- ④ RS485内部通信端子口
- ⑤ RS485外部通信端子口
- ⑥ OVGR接着点
- ⑦ 信号接着点 (AC EMI板に繋がる)
- ⑧ USB接口

ステップ②：アース接続及び交流輸出ケーブル接続  
 (ケーブル規格：L1/L2/L3/N/PE:4\*25-50mm<sup>2</sup>+1\*16-50mm<sup>2</sup>ケーブル、  
 外径27~32mm 90℃銅芯ケーブル、N線選択可能)



内部アース接続又は装置外部アース接続を選用してください

交流ケーブル接続 (N線接続選択可)

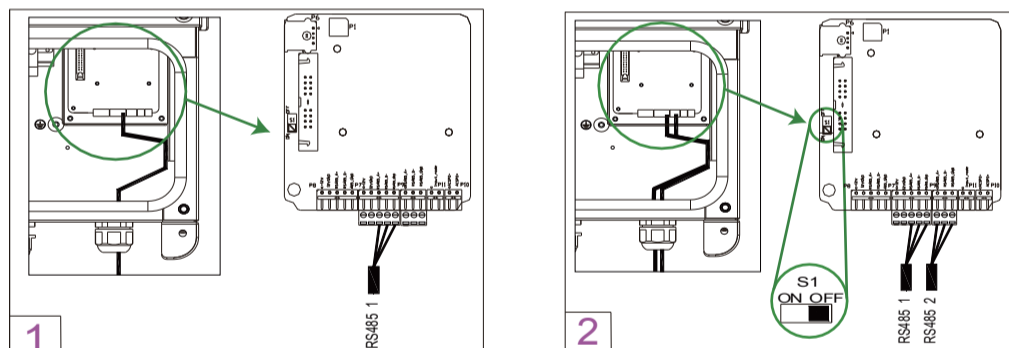
### 据付方式、環境及び据付間隔要求

**6**

- 正極金属端子  
メス金属端子  
推奨: 4mm<sup>2</sup>太陽光発電ケーブル (PV1-F)
- 締め付けた後ケーブルを抜かないことを確保してください。
- オスコネクタ ナットを締め付ける  
メスコネクタ
- 太陽光発電のケーブル極性は正しいかチェックしてください。それに、開放電圧はパワーコンディショナ入力上限値を超えないことを確保してください。
- 差込端子をしっかりと締め付けていることを確保してください

### RS485 通信接続

RS485通信接続を利用する場合、下記図の示すように：  
 RS485接続ケーブルを製作し、5Pコネクタを採用してください(付属箱に配置されている)

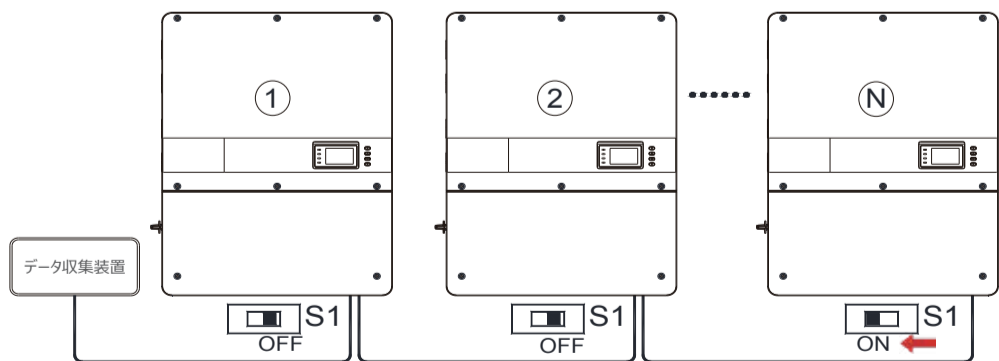


単台パワーコンディショナ通信接続

多数台のパワーコンディショナ通信接続

製作完了後の通信ケーブルはRS485通信端子接口に挿し込

イシヨナ中の通信基盤の120ohmターミナル抵抗のダイヤルスイッチS1をONにし、他のパワーコンディショナ上のターミナル抵抗のダイヤルスイッチを全部OFFにすることを推奨します。



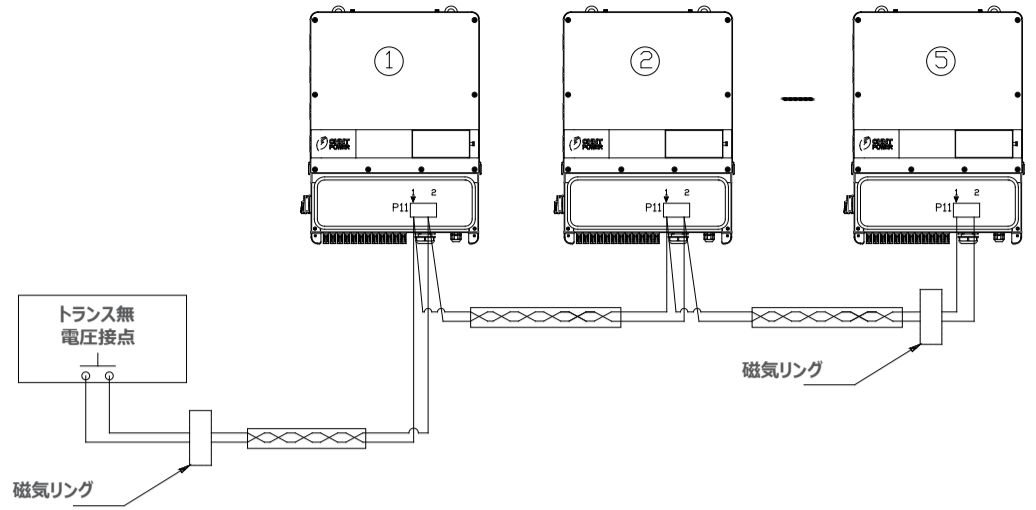
全て操作接続ステップは完了したら、#3十字ドライバで接続箱上の二つネジをしっかり締め付けて、カバーを掛けてください。(トルジョン: 30kgf. cm)

### 多数台OVGR接続

プレートP11はOVGR接着点です。  
 注意： 1) 1接着点は最大5台まで直列してください；  
 2) 複数台直列する場合、インバーターのP11接着につき、1pinは1pin端子に繋がり、2pinは2pin端子に繋がいでください；

**8**

3) OVGR接着はツイストペア絶縁線を使用してください；  
 4) P11とトランス側の接着点の距離は10m以内にしてください。ツイストペア絶縁線は長い時、妨害を防ぐためツイストペア絶縁線の両側に磁気リングを使い、5-6匝に巻いてください。



### 装置起動試運行

**9**

**警告：**  
 通電運転する前に、必ず運転前のチェックを行ってください。  
 隠れた危険を取り除いて、安全を確保してください。

- 1、架台確り取り付けられていること、取付けているネジを確り締めしていることを確認してください。
- 2、全てのケーブルを確り接続されていること、接続の間違いと作業漏れがないことを確認してください。
- 3、交流・直流電圧は正常になっているか確認し、アース設置現場にあるケーブルは破損しているか確認してください。

全ての検査が終わってから装置運転操作を始めます。

(備考: 該当ステップが設置完了後、(ENTER) ボタンを押してから次のステップに入ります。)

- 1 直流スイッチをONにしてください
- 2 CHNT POWER  
パワーコンディショナを起動画面に入り、自動的に次のステップに入る前までお待ちください。
- 3 Grid Connection Rule  
→ JAPAN  
系統法規を選んでください。
- 4 Language setting  
ENGLISH  
中文  
English或いは中国語を選んでください
- 5 Time setting  
Date: 2019-03-29  
Time: 11:22:06  
日期と時間を設置してください。
- 6 PV Input Mode  
Independent  
Parallel  
PV入力モードにてご確認ください。
- 7 Neutral Line Setting  
YES  
NO  
パワーコンディショナはN線を接続することにより接続済みか未接続を選んでください。
- 8 Communication Setting  
Baud rate: 9600  
Address: 0001  
485通信アドレス及びボーレートを設置ください。
- 9 LCDディスプレイ比較度を設置ください。
- 10 完成後、運転画面に入り、設置作業は完了です。

パワーコンディショナの設置が完成後、パワーコンディショナの運転表示ランプが点灯し、運転成功になります。

パワーコンディショナの運転が失敗になった場合、「FAULT」ランプ(赤色)が点灯します。LCDパネルも故障状態を表示されます。故障中身を確認し、故障を解除してください。再度試運転操作を繰り返してください。それでも故障が発生する場合、アフタサービス関係者にお問い合わせください。

お問い合わせ連絡先：021-37791222-866300

より多くの製品及び内容はウェブサイト:<http://www.Chintpower.com>  
 より多くの製品資料はQRコードをスキャンしてください。

